



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年10月29日

上場会社名 アイティメディア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2148 URL <https://corp.itmedia.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 兼 CEO （氏名）大槻 利樹  
 問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO 兼 管理本部長 （氏名）加賀谷 昭大 TEL 03-6893-2148  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,711	19.6	1,263	45.3	1,255	51.8	855	53.9	855	53.9	761	△27.0
2021年3月期第2四半期	3,103	27.2	869	77.4	827	133.6	555	73.7	555	74.8	1,042	346.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	43.09	42.18
2021年3月期第2四半期	28.05	28.05

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,018	7,278	7,278	80.7
2021年3月期	9,074	7,117	7,117	78.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
2022年3月期	—	11.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,680	11.4	2,520	24.6	1,710	36.2	86.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	20,797,600株	2021年3月期	20,532,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	972,052株	2021年3月期	713,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	19,852,103株	2021年3月期2Q	19,819,545株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）8ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、2021年10月29日に当社ホームページ (<https://corp.itmedia.co.jp/>) に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～9月30日、以下「上期」)の売上収益は、37億11百万円(前年同期比6億8百万円増、19.6%増)となり、過去最高となりました。テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のデジタルシフトが前期より続いており、売上収益は大きく成長しました。

営業利益については、上期として過去最高の12億63百万円(同3億93百万円増、45.3%増)となり、営業利益率は34%となりました。

以上の結果、上期の経営成績につきましては、売上収益は37億11百万円(同19.6%増)、営業利益は12億63百万円(同45.3%増)、四半期利益は8億55百万円(同53.9%増)および親会社の所有者に帰属する四半期利益は8億55百万円(同53.9%増)となりました。

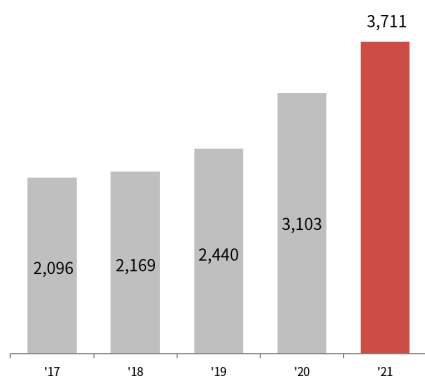
連結経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2020年4月～9月)	当第2四半期 (2021年4月～9月)	増減額	増減率(%)
売上収益	3,103	3,711	+608	+19.6
EBITDA <sup>※1</sup>	1,033	1,403	+369	+35.7
営業利益	869	1,263	+393	+45.3
税引前利益	827	1,255	+428	+51.8
四半期利益	555	855	+299	+53.9
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	555	855	+299	+53.9

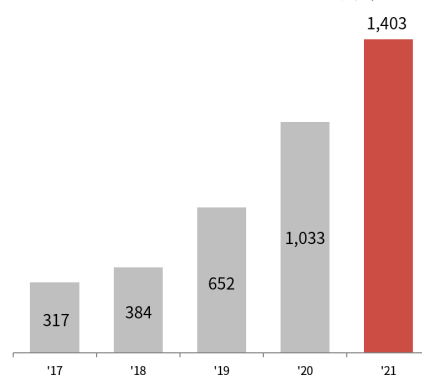
※1 EBITDA: 営業利益+減価償却費+無形資産の償却費+のれんの減損-その他の一時収益+その他の一時費用

■売上収益

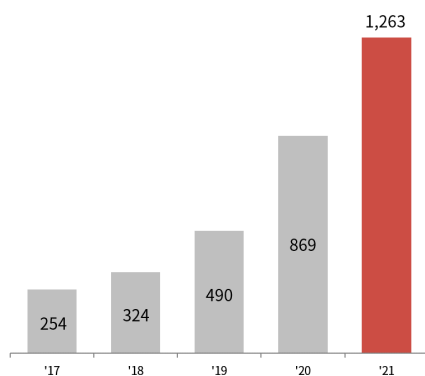


■EBITDA

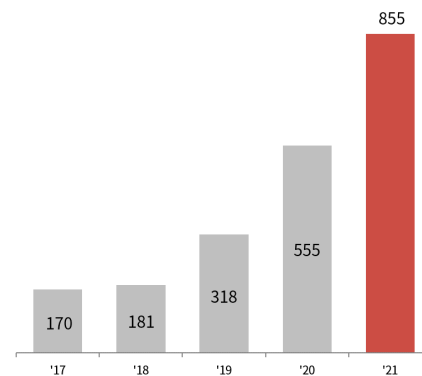
(単位：百万円)



■営業利益



■親会社の所有者に帰属する四半期利益



報告セグメント別の概況

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2020年4月～9月)	当第2四半期 (2021年4月～9月)	増減額	増減率 (%)
リードジェン事業				
売上収益	1,427	1,617	+190	+13.3
EBITDA	461	513	+51	+11.1
営業利益	367	432	+65	+17.7
メディア広告事業				
売上収益	1,675	2,093	+417	+24.9
EBITDA	572	890	+318	+55.6
営業利益	502	830	+328	+65.4

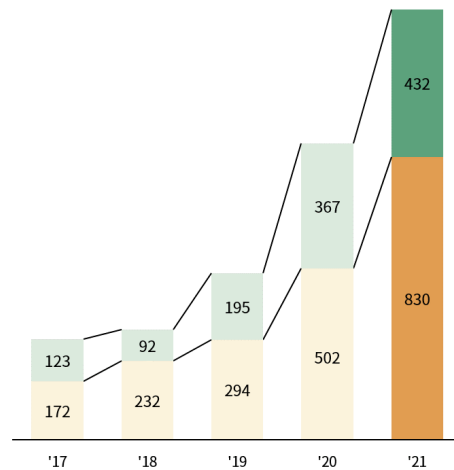
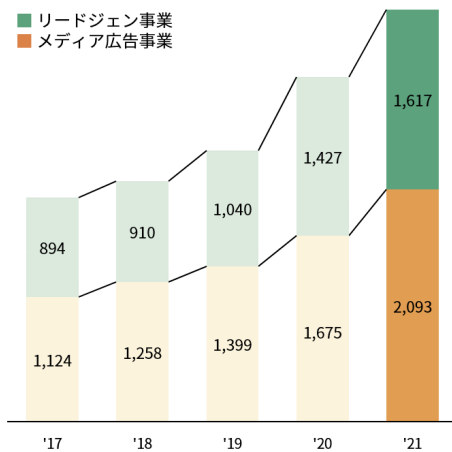
リードジェン事業：専門メディア群から得られるデータを活用して特定のB2B商材に関心の高いユーザーを判別し、顧客企業に見込み客リストとして提供する事業

メディア広告事業：自社運営メディアの広告枠、およびメディアコンテンツを活用した企画商品を販売する事業

■セグメント別売上収益

■セグメント別営業利益

(単位：百万円)



セグメント別売上収益の分解情報 (収益モデル別)

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2020年4月～9月)			当第2四半期 (2021年4月～9月)			前年同期比		
	リード ジェン 事業	メディア 広告 事業	合計	リード ジェン 事業	メディア 広告 事業	合計	リード ジェン 事業	メディア 広告 事業	合計
リードジェネレーション	1,081	—	1,081	1,256	—	1,256	+175 +16.2%	—	+175 +16.2%
デジタルイベント	346	294	641	361	451	813	+15 +4.3%	+157 +53.3%	+172 +16.8%
運用型広告	—	477	477	—	638	638	—	+160 +33.6%	+160 +33.6%
予約型広告・その他	—	903	903	—	1,003	1,003	—	+99 +11.1%	+99 +11.1%
合計	1,427	1,675	3,103	1,617	2,093	3,711	+190 +13.3%	+417 +24.9%	+608 +19.6%

■当第2四半期のリードジェン事業

リードジェン事業の売上収益は、16億17百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のデジタルシフトによる顧客の需要拡大継続を背景に、前期に続き成長を実現しています。

- ・株式会社RPA BANKが運営するAI（人工知能）とRPAの情報提供に特化した会員制メディア「RPA BANK (<https://kn.itmedia.co.jp/kn/subtop/rpabank/>)」事業を、2021年9月1日をもって譲り受けました。RPA BANKの有力なコンテンツおよび会員を当社既存メディアと統合することで、RPA BANKユーザー、当社既存ユーザー双方へのサービスを強化しました。（RPA BANK会員数4万人）
- ・登録会員数は105万人となり、前年同期比8.3%増加しました。

リードジェン事業の主要メディア一覧

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
IT&ビジネス分野	TechTargetジャパン <a href="https://techtarget.itmedia.co.jp/">https://techtarget.itmedia.co.jp/</a>	IT関連製品やサービスの導入・購買を支援する情報並びに会員サービス	企業の情報システムの導入に意思決定権を持つキーパーソン
	キーマンズネット <a href="https://kn.itmedia.co.jp/">https://kn.itmedia.co.jp/</a>		
	発注ナビ <a href="https://hnavi.co.jp/">https://hnavi.co.jp/</a>	情報システム開発会社検索・比較サービス	企業情報システム開発の発注担当者
	ITmedia マーケティング <a href="https://marketing.itmedia.co.jp/">https://marketing.itmedia.co.jp/</a>	デジタルマーケティングの最新動向や製品・サービスの情報	企業のマーケティング活動に携わる担当者
産業テクノロジー分野	TechFactory <a href="https://techfactory.itmedia.co.jp/">https://techfactory.itmedia.co.jp/</a>	製造業のための製品／サービスの導入・購買を支援する会員制サービス	製造業に従事するエンジニアや製品・サービス導入担当者

・当第2四半期における掲載記事のご紹介

（一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。）

「「ローカル5G」活用の可能性を探る【後編】

ローカル5Gの基礎知識 「SA」「NSA」「MEC」「ミリ波」「Sub-6」とは？」 TechTargetジャパン 2021年8月3日公開

5Gのインフラを自前で運用する「ローカル5G」を理解するには、どのような基本的な情報を持っておけばいいのだろうか。インフラの構成や利用する周波数帯であるSub-6とミリ波など、基本的なポイントを紹介する。

<https://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/2107/16/news01.html>

「医療ITコンサルタントのためのQ&A【第3回】

「電子カルテ」導入で病院とITベンダーが分かり合えない“残念な理由” TechTargetジャパン 2021年7月27日公開

医療機関とITベンダーが協力して電子カルテ導入に取り組む際、しばしば両者の認識のギャップが生じます。その原因は何なのでしょう。ギャップを埋める手段となり得る「通訳者」の必要性とともに解説します。

<https://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/2107/26/news02.html>

「「Teams依存の情報共有」が組織をダメにする？ 情弱組織にならないためのツール活用法」 キーマンズネット 2021年9月13日公開

従業員それぞれが、知識やノウハウ、経験から得たベストプラクティスを組織に循環させる。それこそが情報共有だ。しかし管理者や組織のトップはビジネスにおける成果ばかりを見て、組織を強くしようと情報共有に励む従業員の取り組みは評価されにくいのが実情だ。

<https://kn.itmedia.co.jp/kn/articles/2109/10/news086.html>

「CMOのためのデジタルトレンド解説

Google アナリティクス最新バージョン「GA4」はWeb解析業務をどう変えるのか ITmedia マーケティング  
2021年9月1日公開

マーケティングリーダーが押さえておくべきデジタルテクノロジーのトレンドをエキスパートが毎月リレー形式で解説。初回は「GA4」をテーマにお届けします。

<https://marketing.itmedia.co.jp/mm/articles/2109/01/news056.html>

「大原雄介のエレ・組み込みプレイバック

日本の半導体戦略は“絵に描いた餅” TechFactory 2021年6月16日公開

エレクトロニクス／組み込み業界の動向をウォッチする連載。今回は、急に盛り上がってきた「日本の半導体戦略」についてお届けする。

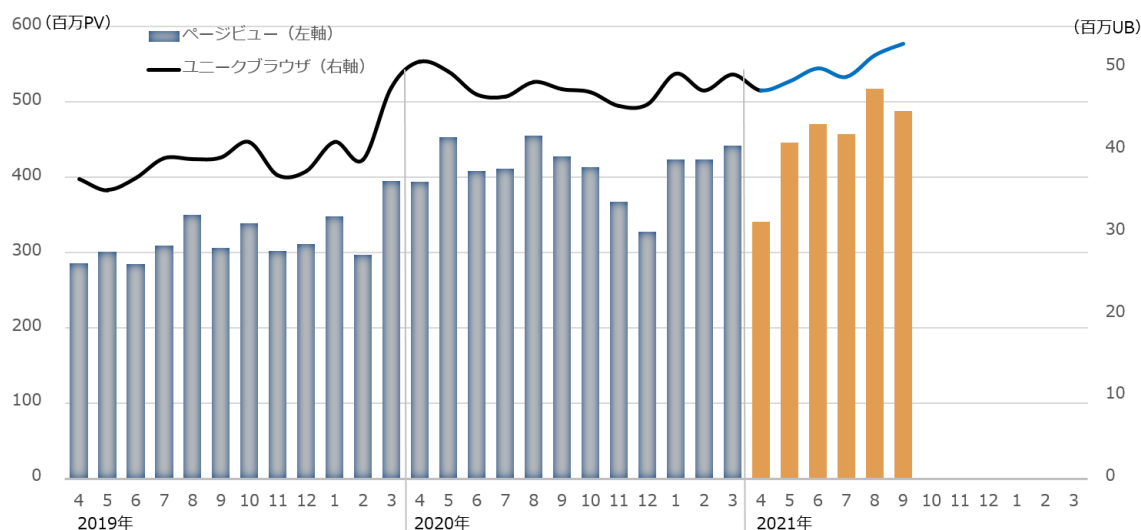
<https://techfactory.itmedia.co.jp/tf/articles/2106/16/news043.html>

■当第2四半期のメディア広告事業

メディア広告事業の売上収益は、20億93百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

デジタルトランスフォーメーション加速を背景としたビジネス領域や産業テクノロジー領域における広告需要拡大や、メディア主催型のデジタルイベントの好調および運用型広告の収益拡大により、前期に続き大きな成長を実現しています。

- ・全社のメディア力を図る指標であるページビュー(PV)<sup>※2</sup>、ユニークブラウザ(UB)<sup>※3</sup>の当第2四半期連結会計期間での最高値はそれぞれ、ページビューが月間5.1億PV、ユニークブラウザが月間5,200万UBとなっております。
- ・ねとらぼは、2021年8月に月間4.2億PVと、初となる4億PVを超過し、過去最高記録を更新しております。広告単価も改善傾向となっております。
- ・モノづくりの最新テクノロジーやソリューションが集う国内最大級のバーチャル展示会「ITmedia Virtual EXPO 2021 秋」を開催しました。
- ・当連結会計期間に開催した主なメディア主催型デジタルイベント
  - ①「ITmedia DX Summit Vol.9」：@IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
  - ②「ITmedia Security Week 2021 秋」：@IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
  - ③「ITmedia SaaS EXPO 2021 夏」：ITmedia ビジネスオンライン



※2 ページビュー：あるウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す単位のひとつ。1ページビューとは、あるウェブサイトを閲覧しているユーザーのブラウザに、そのウェブページが1ページ分表示されることを指します。通常、ウェブサイトを見ているユーザーは、サイト内の複数のページを閲覧するため、そのサイトを訪問した実質のユーザー数（ユニークブラウザ数）よりもページビュー数のほうが数倍多くなります。

※3 ユニークブラウザ：ウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す指標のひとつ。1ユニークブラウザとは、ある一定期間内にウェブサイトにアクセスされた、重複のないブラウザ数を指します。ウェブサイトの人気や興味の度合い、その推移を判断する指標として広く用いられています。

メディア広告事業の主要メディア一覧

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
IT&ビジネス分野	@IT <a href="https://atmarkit.itmedia.co.jp/">https://atmarkit.itmedia.co.jp/</a> @IT自分戦略研究所 <a href="https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/subtop/jibun/">https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/subtop/jibun/</a>	専門性の高いIT関連情報・技術解説	システム構築や運用等に携わるIT関連技術者
	ITmedia NEWS <a href="https://www.itmedia.co.jp/news/">https://www.itmedia.co.jp/news/</a> ITmedia エンタープライズ <a href="https://www.itmedia.co.jp/enterprise/">https://www.itmedia.co.jp/enterprise/</a> ITmedia エグゼクティブ <a href="https://mag.executive.itmedia.co.jp/">https://mag.executive.itmedia.co.jp/</a>	IT関連ニュースおよび企業情報システムの導入や運用等の意思決定に資する情報	IT業界関係者、企業の情報システム責任者および管理者
	ITmedia ビジネスオンライン <a href="https://www.itmedia.co.jp/business/">https://www.itmedia.co.jp/business/</a>	時事ニュースの解説、仕事効率向上に役立つ情報	20~30代ビジネスパーソン
産業テクノロジー分野	MONOist <a href="https://monoist.atmarkit.co.jp/">https://monoist.atmarkit.co.jp/</a> EE Times Japan <a href="https://eetimes.itmedia.co.jp/">https://eetimes.itmedia.co.jp/</a> EDN Japan <a href="https://ednjapan.com/">https://ednjapan.com/</a>	エレクトロニクス分野の最新技術解説並びに会員サービス	エレクトロニクス関連の技術者
	BUILT <a href="https://built.itmedia.co.jp/">https://built.itmedia.co.jp/</a>	建築・建設分野の最新技術解説並びに会員サービス	建築・建設業界の実務者
	スマートジャパン <a href="https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/">https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/</a>	節電・蓄電・発電のための製品検討や導入に役立つ情報	企業や自治体の総務部、システム部、小規模工場経営者
コンシューマー分野	ITmedia Mobile <a href="https://www.itmedia.co.jp/mobile/">https://www.itmedia.co.jp/mobile/</a> ITmedia PC USER <a href="https://www.itmedia.co.jp/pcuser/">https://www.itmedia.co.jp/pcuser/</a> Fav-Log <a href="https://www.itmedia.co.jp/fav/">https://www.itmedia.co.jp/fav/</a>	パソコン、スマートフォン、AV機器等デジタル関連機器の製品情報、活用情報	デジタル関連機器等の活用に積極的な消費者
	ねとらぼ <a href="https://nlab.itmedia.co.jp/">https://nlab.itmedia.co.jp/</a>	ネット上の旬な話題の提供	インターネットユーザー

・当第2四半期における掲載記事のご紹介

(一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。)

「Python」×「株価データ」で学ぶデータ分析のいろは (1)

「Python」と「Google Colaboratory」で株価データ分析に挑戦 @IT 2021年7月27日公開

日々変動する株価データを題材にPythonにおけるデータ分析のいろはを学んでいく本連載。第1回はPythonを実行する環境とデータの前準備について。

<https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/articles/2107/27/news006.html>

「横河レンタ・リースの「Win10運用マスターへの道」番外編

PC管理者の皆様、気付いたか？ Windows 11発表会の外でしれっと公開された“インパクト大”の変更点

ITmedia エンタープライズ 2021年7月30日公開

Windows 11が発表されたことで「いつまでWindows 10を使うか」「社内のPCはどのタイミングでアップグレードする必要があるか」といった点を考え始めた読者は多いのではないでしょうか。Windows 10とWindows 11の間には、運用に関わる重大な変更点があります。その内容と影響の範囲について考察しました。

<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2107/31/news005.html>



「建設専門コンサルが説く「これからの市場で生き抜く術」 (2)

【第2回】建設業は“残業規制”にどう対処すべきか？工事監督の業務時間を1日1.5時間削減した事例から  
BUILT 2021年6月25日公開

本連載では、経営コンサルタント業界のパイオニア・タナベ経営が開催している建設業向け研究会「建設ソリューション成長戦略研究会」を担う建設専門コンサルタントが、業界が抱える諸問題の突破口となる経営戦略や社内改革などについて、各回テーマを設定してリレー形式で解説していく。第2回は、建設業にも差し迫る時間外労働の上限規制にどのように対応していくべきか、業務改善の事例を交えレクチャーする。

<https://built.itmedia.co.jp/bt/articles/2106/25/news009.html>

「お堅い「国税庁一問一答」を超解説！

<基本編>知識ゼロから読める改正電帳法「一問一答」 ITmedia ビジネスオンライン 2021年7月21日公開  
2022年1月1日施行が予定されている「改正電子帳簿保存法」（以下、改正電帳法）。要件が大幅に改正され、承認制度も廃止になったことで、中小企業も広く対応しやすくなった。しかし、ネット上では“現行法”と“改正法”の電帳法情報が混在している上、国税庁の公式サイトに用意されている「一問一答」は内容がお堅すぎて「解説できない……」という人もいるのでは？ 数多くの企業を対象に電帳法コンサルタントを担当している持木健太氏（TOMAコンサルタンツグループ 取締役）に、知識ゼロでも分かる改正電帳法のポイントを聞いた。

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2107/20/news074.html>

「スポットクーラー、窓用エアコン、扇風機……今すぐ涼しい！ 工事不要で使える冷房器具【2021年最新版】」 Fav-Log 2021年8月3日公開

夏本番の本格的な暑さ。エアコンがなければ室内は大変な暑さになってしまいますが、エアコンが取り付けられない部屋だったり、今からエアコンを注文しても設置工事がかなり先だったり……といった事情がある方もいるのではないのでしょうか。エアコンがあっても「料理を作っている時にキッチンを涼しくしたい」「使いたい時に使える、ちょっとした冷風が欲しい」といったニーズもあるでしょう。

<https://www.itmedia.co.jp/fav/articles/2108/03/news126.html>

「100円ローソンに“おかずがウインナーのみ”の潔すぎる弁当登場 部長が10年間商品部を説得して実現」 ねとらぼ 2021年7月2日公開

部長の熱意がすごい。

<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2107/02/news112.html>

「家主の死、飼い主の入院、金銭問題——猫65匹の「多頭飼育崩壊」はなぜ起きたのか レスキューに立ち会ったボランティア団体が明かす“凄惨な現場”」 ねとらぼ生物部 2021年8月13日公開

最後の1匹の“ずっとのおうち”が決まるまで。

<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2108/13/news002.html>

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は90億18百万円（前連結会計年度比55百万円減）となりました。主な増減の内訳は、営業債権及びその他の債権の減少1億11百万円、その他の金融資産の減少1億86百万円および使用権資産の増加2億63百万円であります。

負債合計は17億39百万円（同2億17百万円減）となりました。主な増減の内訳は、営業債務及びその他の債務の減少1億52百万円、リース負債の増加2億47百万円および未払法人所得税の減少1億61百万円であります。

資本合計は72億78百万円（同1億61百万円増）となりました。主な増減の内訳は、新株予約権の行使等に伴う資本金および資本剰余金の増加1億49百万円、利益剰余金の増加6億77百万円および自己株式の取得5億70百万円によるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より71百万円減少し、58億6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は6億26百万円となり、前年同四半期と比べ3億41百万円減少いたしました。主な内訳は、税引前四半期利益12億55百万円、法人所得税の支払額5億62百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は9百万円となり、前年同四半期と比べ86百万円増加いたしました。主な内訳は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出18百万円、事業譲受による支出40百万円および差入保証金の回収による収入48百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は6億88百万円となり、前年同四半期と比べ4億51百万円減少いたしました。主な内訳は、新株の発行による収入1億55百万円、配当金の支払額1億79百万円および自己株式の取得による支出5億70百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上期の業績は、テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のデジタルシフトが前期より続いており、売上収益、営業利益ともに過去最高となるなど好調に推移いたしました。

今後も企業のマーケティング活動のデジタルシフトは継続的に進行するものと見込んでおりますが、短期的には新型コロナウイルス感染症の動向など不透明な部分も多いことから、下期については、期初の想定を据え置いております。これらを踏まえて、通期連結業績予想を修正しております。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,877,480	5,806,443
営業債権及びその他の債権	1,183,931	1,072,392
その他の金融資産	500,000	500,000
棚卸資産	13,839	12,501
その他の流動資産	92,066	98,694
流動資産合計	7,667,317	7,490,032
非流動資産		
有形固定資産	142,977	136,256
使用権資産	—	263,980
のれん	415,719	443,471
無形資産	237,416	210,108
持分法で会計処理されている投資	4,797	—
その他の金融資産	486,537	299,991
繰延税金資産	113,671	169,254
その他の非流動資産	6,048	5,567
非流動資産合計	1,407,169	1,528,630
資産合計	9,074,487	9,018,663
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	377,409	224,962
リース負債	3,688	178,070
未払法人所得税	562,786	401,014
契約負債	324,963	310,369
その他の流動負債	625,375	491,926
流動負債合計	1,894,223	1,606,342
非流動負債		
リース負債	3,684	76,422
引当金	28,950	28,950
その他の非流動負債	30,297	27,969
非流動負債合計	62,932	133,341
負債合計	1,957,156	1,739,684
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,735,570	1,813,878
資本剰余金	1,926,189	1,997,290
利益剰余金	3,607,628	4,284,668
自己株式	△344,517	△914,906
その他の包括利益累計額	192,460	98,047
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,117,330	7,278,979
資本合計	7,117,330	7,278,979
負債及び資本合計	9,074,487	9,018,663

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	3,103,482	3,711,505
売上原価	1,093,084	1,244,666
売上総利益	2,010,397	2,466,839
販売費及び一般管理費	1,141,174	1,203,867
その他の営業損益	308	275
営業利益	869,531	1,263,247
その他の営業外損益(△は費用)	30	△2,525
持分法による投資損益(△は損失)	△42,220	△4,797
税引前四半期利益	827,341	1,255,924
法人所得税	271,489	400,508
四半期利益	555,851	855,416
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	555,851	855,416
非支配持分	-	-
	555,851	855,416
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.05	43.09
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	28.05	42.18

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	555,851	855,416
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの資本性金融資産	487,138	△94,412
純損益に振り替えられることのない項目合計	487,138	△94,412
その他の包括利益(税引後)合計	487,138	△94,412
四半期包括利益合計	1,042,990	761,003
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	1,042,990	761,003
非支配持分	—	—
	1,042,990	761,003

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額		
2020年4月1日	1,735,570	1,824,058	2,612,258	△344,454	59,874	5,887,308	5,887,308
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	555,851	—	—	555,851	555,851
その他の包括利益	—	—	—	—	487,138	487,138	487,138
四半期包括利益合計	—	—	555,851	—	487,138	1,042,990	1,042,990
所有者との取引額等							
剰余金の配当	—	—	△118,917	—	—	△118,917	△118,917
自己株式の取得	—	—	—	△63	—	△63	△63
所有者との取引額等合計	—	—	△118,917	△63	—	△118,980	△118,980
2020年9月30日	1,735,570	1,824,058	3,049,192	△344,517	547,012	6,811,317	6,811,317

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額		
2021年4月1日	1,735,570	1,926,189	3,607,628	△344,517	192,460	7,117,330	7,117,330
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	855,416	—	—	855,416	855,416
その他の包括利益	—	—	—	—	△94,412	△94,412	△94,412
四半期包括利益合計	—	—	855,416	—	△94,412	761,003	761,003
所有者との取引額等							
新株の発行	78,307	76,750	—	—	—	155,058	155,058
新株予約権の発行	—	366	—	—	—	366	366
剰余金の配当	—	—	△178,375	—	—	△178,375	△178,375
自己株式の取得	—	△3,700	—	△570,388	—	△574,088	△574,088
株式に基づく報酬取引	—	△2,315	—	—	—	△2,315	△2,315
所有者との取引額等合計	78,307	71,101	△178,375	△570,388	—	△599,355	△599,355
2021年9月30日	1,813,878	1,997,290	4,284,668	△914,906	98,047	7,278,979	7,278,979

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	827,341	1,255,924
減価償却費及び償却費	164,326	140,106
持分法による投資損益(△は益)	42,220	4,797
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加額)	△74,574	111,538
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少額)	△16,521	△152,229
契約負債の増減額(△は減少額)	140,460	△14,594
その他	84,363	△156,685
小計	1,167,615	1,188,857
利息及び配当金の受取額	171	141
利息の支払額	△129	△196
法人所得税の支払額	△199,927	△562,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	967,730	626,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△23,830	△18,300
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△72,000	—
差入保証金の回収による収入	—	48,798
事業譲受による支出	—	△40,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,830	△9,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株の発行による収入	—	155,025
新株予約権の発行による収入	—	366
自己株式の取得による支出	△63	△570,388
配当金の支払額	△118,911	△179,183
リース負債の返済による支出	△117,992	△90,174
その他	—	△3,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,967	△688,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	634,932	△71,036
現金及び現金同等物の期首残高	4,302,014	5,877,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,936,947	5,806,443

## (5) 要約四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

「リードジェン事業」は、会員制メディアおよび各メディアのデジタルイベントを通じて企業におけるIT製品・サービスの導入・購買に関する支援や情報提供サービスを行っております。

「メディア広告事業」は、IT&ビジネス分野、産業テクノロジー分野、コンシューマー分野に関して、専門性の高い情報をユーザーに提供し、主に広告商品を企画・販売・掲載するための各メディアの企画・運営・情報掲載サービスの提供およびその他の法人向けサービスの提供を行っております。

各報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同一であります。報告セグメントの利益は、「営業利益」であります。セグメント利益の算定にあたっては、特定の報告セグメントに直接関連しない費用を、最も適切で利用可能な指標に基づき各報告セグメントに配分しております。セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下の通りです。

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	リードジェン 事業	メディア広告 事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	1,427,547	1,675,935	3,103,482	—	3,103,482
セグメント間の売上高	—	430	430	△430	—
合計	<u>1,427,547</u>	<u>1,676,365</u>	<u>3,103,912</u>	<u>△430</u>	<u>3,103,482</u>
セグメント利益	<u>367,391</u>	<u>502,140</u>	<u>869,531</u>	<u>—</u>	<u>869,531</u>
その他の営業外損益（△は費用）					30
持分法による投資損益（△は損失）					△42,220
税引前四半期利益					<u>827,341</u>

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	リードジェン 事業	メディア広告 事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	1,617,925	2,093,579	3,711,505	—	3,711,505
セグメント間の売上高	—	300	300	△300	—
合計	<u>1,617,925</u>	<u>2,093,879</u>	<u>3,711,805</u>	<u>△300</u>	<u>3,711,505</u>
セグメント利益	<u>432,466</u>	<u>830,781</u>	<u>1,263,247</u>	<u>—</u>	<u>1,263,247</u>
その他の営業外損益（△は費用）					△2,525
持分法による投資損益（△は損失）					△4,797
税引前四半期利益					<u>1,255,924</u>